

年間展示予定

EXHIBITION SCHEDULE

6F 特別展示室

特別展

特別展観覧券が必要です

小泉八雲

—怪談とフォークロリストのまなざし—

4/11(土) - 6/8(月)

『怪談』に代表されるさまざまな作品を生み出した作家、小泉八雲。彼の物語には、日本の怪異譚や民間信仰、自然観に基づくものが少なくありません。それは、八雲がフォーク



神戸在住時の小泉八雲
(大阪歴史博物館保管)

ロリスト(民俗学者)としての視点も持ち合わせていたためです。八雲は、日本人の目に見えないものへの祈りや自然を敬う心を感じとり、表現しました。本展では、八雲が自身の目と耳をとおして触れた日本の民俗・文化の魅力やその豊かさを、数々の作品から読み解きます。(俵)

NHK大河ドラマ特別展

「豊臣兄弟！」

7/8(水) - 8/31(月)

豊臣秀吉と豊臣秀長、そして彼らを取りまいた織田信長・徳川家康、さらには藤堂高虎・黒田官兵衛・千利休・小堀遠州といった人々のゆかりの品々や同時代の歴史



豊臣秀吉公像(壺阪寺蔵)

資料などを紹介し、秀吉の猛烈な人生とそれを支えた秀長の生き様、そして二人が生きた時代を浮き彫りにします。本展は、NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」と連動し、開催するものです。(北上)

8F 特集展示室

特集展示

常設展示観覧券でご覧になれます

郷土玩具が好き —風土と造形の愉しみ—

1/14(水) - 4/6(月)

地域の風土を反映し、身近な素材で作られたさまざまな郷土玩具。日本各地で生みだされた玩具の数々から、これらに込められた祈りや造形の豊かさをみつめます。(俵)

たんけん！となりの町工場

4/8(水) - 6/29(月)

町工場は、産業都市としての大阪の土台を作り、その発展を支えてきました。本展では、鉄工所、製材所、硝子加工所などの市内ゆかりの町工場に関する大正・昭和期の資料を中心に展示し、わたしたちの暮らしに身近なものづくりの歴史を紹介します。(猪岡)

新収品お披露目展

7/1(水) - 9/7(月)

大阪歴史博物館は、郷土大阪を中心とする地域の歴史と文化について広く市民に紹介し、理解を深めることを収集の基本方針としています。本展では、令和7年に市民の皆様からご寄贈いただき、館蔵品となった資料を中心にお披露目します。(寺井)

新発見！なにわの考古学2026

9/9(水) - 11/23(月・祝)

大阪市内には難波宮跡や大坂城跡、中之島蔵屋敷跡など数多くの遺跡が埋もれており、毎年各所で発掘調査が行われています。令和6・7年度(2024・25年度)の大阪市内の遺跡発掘調査を中心に、主な調査成果を出土遺物や写真パネルで紹介します。(田中)

千日前の興行師・奥田辨次郎

11/25(水) - 令和9年 2/1(月)

明治以降、千日前の発展に大きく貢献した奥田辨次郎とその家族について紹介します。帳簿、芳名帳、芸人の写真といった資料を通して、辨次郎一家の興行の実態に迫ります。(奥本)

※本展はJSPS科学研究費25K03795の助成を受けた研究成果の一部です。

中世・大阪の城をさぐる

令和9年 2/3(水) - 4/12(月)

大阪市内の城と言えば、立派な天守閣をもつ大阪城が有名です。その一方で、今はその痕跡を全くとどめていない中世の城が多数存在していました。それらの城は、どこにあったのでしょうか。どんな姿をしていたのでしょうか。本展では、発掘調査の成果や絵図の解説を手掛かりに、知られざる大阪の城をさぐります。(岡本)